



ゼロカーボンアクション30

脱炭素社会の実現に向けて
わたしたちができること

日常生活や経済活動で排出された二酸化炭素（CO₂）をはじめとする温室効果ガスは、地球全体の気温を上昇させ、千葉県でも年平均気温の上昇、真夏日の増加、大雨の増加など、気候に様々な影響を与えます。温室効果ガスを減らす脱炭素行動を実践していきましょう。

問い合わせは **環境政策室**
☎421-6767へ

ゼロカーボンアクション30に できることから取り組んでみましょう

2年(2020年)10月、政府は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すことを宣言し、本市では2年(2020年)12月に「ゼロカーボンシティ」を宣言しました。3年(2021年)6月には、政府で「地域脱炭素ロードマップ」が取りまとめられ、その中では、日常生活における脱炭素行動と暮らしにおけるメリットを「ゼロカーボンアクション30」として整理しています。

脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。「ゼロカーボンアクション30」にできることから取り組んでみましょう。

ゼロカーボンアクション30の詳細は、環境省ホームページ(右のコード)からご覧ください。



エネルギーを 節約・転換しよう!

省エネのためにクールビズ・ウォームビズの実行や、家電を買い替えるときは、省エネ対応製品を選びましょう。

電力の小売事業者の中には、再生可能エネルギーを扱う事業者もあり、切り替えるだけで脱炭素に貢献できます。

- 1 再エネ電気への切り替え
- 2 クールビズ・ウォームビズ
- 3 節電 不要なときはスイッチオフ
- 4 節水
- 5 省エネ家電の導入
- 6 宅配サービスをできるだけ一回で受取る
- 7 消費エネルギーの見える化

太陽光パネル付き・ 省エネ住宅に住もう!

既存の住宅でもサッシなど断熱リフォームするだけで、室内環境がより快適になり、大

幅な省エネが実現できます。さらに、太陽光パネルを設置すれば、自宅に再生可能エネルギーの電源を持つことができ、災害時に停電を避けられるメリットもあります。

- 8 太陽光パネルの設置
- 9 ZEH(ネット・ゼロエネルギー・ハウス)
- 10 省エネリフォーム
- 11 蓄電池(車載の蓄電池)・蓄エネ給湯器の導入・設置
- 12 暮らしに木を取り入れる
- 13 分譲も賃貸も省エネ物件を選択
- 14 働き方の工夫

CO₂の少ない 交通手段を選ぼう!

移動時には、積極的に徒歩や自転車、公共交通機関を利用することで、CO₂の排出量を減らすことができます。運動することで健康にもメリットがあります。自家用車やカーシェア、レンタカーの車を選ぶときは、用途によって電気自動車やプラグインハイブリッド車が選択できないか検討してみましょう。

- 15 スマートムーブ
- 16 ゼロカーボン・ドライブ

食ロスをなくそう!

「食」も、加工や輸送の段階などでエネルギーを消費しています。まずは、食べ切れる量だけ購入するよう心掛けて、食ロス(食品ロス)をなくしましょう。

- 17 食事を食べ残さない
- 18 食材の買い物や保存などでの食品ロス削減の工夫
- 19 旬の食材、地元の食材でつくった菜食を取り入れた健康な食生活
- 20 自宅でコンポスト

サステナブルな ファッションを!

適切なケアで今持っている服を長く愛用し

たり、衝動買いを控えて長く着られる服をじっくり選ぶよう気をつけましょう。環境に配慮した製品を選ぶこともサステナブルなファッションにつながります。

- 21 今持っている服を長く大切に着る
- 22 長く着られる服をじっくり選ぶ
- 23 環境に配慮した服を選ぶ

3R(リデュース、 リユース、リサイクル)

ごみの減量のため、マイバッグやマイボトルなどの繰り返し使える製品を使用したり、家庭の不用品はアプリなどを活用してフリーマーケットなどで売買してみましょう。

ごみも適切に分別すれば資源になります。紙類やビン類、ペットボトルなどは資源物回収によりリサイクルを。

- 24 マイバッグ、マイボトル、マイ箸、マイストローなどを使う
- 25 修理や補修をする
- 26 フリーマーケットやシェアリング、サブスクリプションなどのサービスを活用
- 27 ごみの分別処理

CO₂の少ない製品・ サービスなどを選ぼう!

環境配慮マークが付いた製品や簡易包装のもの、詰め替え製品を積極的に選んで、環境負荷を減らしたり、気候変動対策に取り組む企業を応援しましょう。

- 28 脱炭素型の製品・サービス(環境配慮のマークが付いた商品、カーボンオフセット、カーボンフットプリント表示商品)の選択
- 29 個人のESG投資

環境保全活動に 積極的に参加しよう!

地域で行われている植林やごみ拾い活動に参加してみて、SNSなどでシェアすれば、活動の輪がさらに広がるかもしれません。

- 30 植林やごみ拾いなどの活動

広告